

# GIGA 校内研修 前期の取組

輪島市立門前中学校

GIGA 校内研修推進リーダー 新出菜帆

## ○ 本校について

生徒数 55名 …… 端末を使うことに意欲がある。教え合いができる。

教員数 11名 …… ベテラン教員の一部は ICT に苦手意識がある。

< 昨年度のうちに行っていた・できていたこと >

- ・ 高速ネットワークが構築された。
- ・ 1人1台端末が配布された。
- ・ クラスルームに参加した。Meet 機能を体験した。
- ・ 家庭での検温記録を手書きから Google フォームに変更した。

### 【中間目標①】

Chromebook に慣れよう ～各教科で単元に複数回は Chromebook を使った授業を行う～

## ○ 実践内容

職員会議の中に GIGA 研修の時間を設け、さまざまな機能の活用例について、演習を通して身に付けることができた。

### 1 フォームを使ったアンケート作成

- ・ 検温システム完全移行 …… 保護者の携帯等で URL または QR コードからフォームにアクセスする。
- ・ 生活・学習アンケート …… クラスルームを作成して、集計結果(数値・グラフ)を集会で生徒に提示する。
- ・ 授業ふり返しアンケート …… クラスルーム「職員室」内の共有フォルダで管理する。各教科で月末にアンケートを実施して、学校研究に活用する。
- ・ 学習時間調査 …… 登校後に前日の学習時間を入力して、スプレッドシートに事前に入力された関数によって自動集計する。

### 2 スプレッドシートの活用

< 理科の実験結果 >

班の中で分担して実験結果を表を入力し、後からゆっくり考察する。

→ 他の班の結果と比較しながら考えることができる。

#### < クラスの意見 >

- 「職場体験の目的」や「門前町の良いところ、悪いところ」などについて、意見を自由に書き込む。  
→ 『AI テキストマイニング』を活用し、クラス全体の意見を簡単に視覚化することができる。

### 3. ジャムボードの活用

#### < 意見の書き出し >

自分の意見を付箋に書きだす。

- 色分けを上手く活用すると効果的に使うことができる。  
(メリット・デメリットを比較する場面や登場人物を比較する場面で)

#### < 話し合い >

付箋を動かしながら班で話し合いをする。

- グループ分けがしやすい。

\*コロナ禍で班活動ができないときにも活用できる。

### 4. カメラで記録

#### < 理科の実験結果 >

実験の前後の写真を撮る。

- 色の変化や大きさを比較することができる。  
水溶液が入った試験管を並べ、写真を撮る。  
→ 後で見返すことができる。自分の班以外の結果を共有できる。

#### < 植物の観察 >

栽培中の植物を毎回カメラで撮影し、写真をスライドに貼り付ける。

- 一人ひとりの観察日記となり、植物の成長の様子が一目で分かる。

### 5. ファイルの共有

#### < メールへの添付との違い >

メールアドレスを入力し、ファイルを閲覧・編集する権限を与える。

- メールに添付して送信する必要がない。

中間目標の達成率について  
(回答9人)

単元に複数回使うことができた	77.8 %
単元に1回程度使うことができた	11.1 %
ほとんど使っていない	11.1 %

## ○ 成果

< Chromebook 活用のメリット > (アンケートより)

- ・ 生徒が意欲的に授業を受ける
- ・ アンケートの集計がしやすい
- ・ 意見の共有や提示がしやすい
- ・ 操作技能が身につく

アンケート機能の活用が大幅に進み、業務の効率化につながった。

校内研修で演習を取り入れることで操作技能を向上させることができた。

## ○ 課題

< Chromebook 活用のデメリット > (アンケートより)

- ・ 従来の授業スタイルとの併用が難しい
- ・ 文章を書く力や話し合う力がなくなる
- ・ 効果的な活用方法がわからない

授業での効果的な活用があまりできていない。



## ○ 今後の見通し

### 知る

- ・ スマートスクールネットに掲載されている ICT 活用授業動画を視聴する。

### 共有する

- ・ 校内研修において、授業中の具体的な場面での活用事例を紹介する。  
クラスルームに記録を残し、いつでも閲覧できるようにする。